

## 昭和52年度行事経過（公式行事のみ）

### ○第17回定例研究会の開催

前年度に引きつづき、本年度最初の定例研究会を下記の通り開催した。

日時 昭和52年5月6日（金） 午後

会場 東京工業試験所大会議室

課題 「核融合反応になにを選ぶべきか」

伏見康治（日本学術会議）

「中国におけるエネルギー問題」

森川 清（日揮株式会社）

出席者45名

### ○第18回定例研究会の開催

日時 昭和52年7月8日（金） 午後

会場 東京工業試験所大会議室

課題 「第2回金属中の水素に関する国際会議」

佐々木靖男（金属材料技術研究所）

「燃料としてのメタノール」

加藤 順（東京工業試験所）

出席者41名

### ○第19回定例研究会の開催

日時 昭和52年8月18日（木） 午後

会場 東京工業試験所大会議室

課題 「ヨーロッパに於けるエネルギー開発の近況」

「3rd WHEC (World Hydrogen Energy Conference) 会議の日本開催について」

太田時男（横浜国立大学）

出席者33名

### ○第4回水素エネルギーシステム研究発表会の開催

恒例行事として昨年の第3回開催と同期日を選んで第4回研究発表会を開催した。

日時 昭和52年11月25日（金） 10:00～16:30

会場 市ヶ谷会館（3階会議室）

発表テーマ 「硫化物からの水素製造に関する研究（第7報）」

木内弘道，岩崎徹夫，田中時昭（北海道大学）

外14テーマ

特別講演 「エネルギー問題と日本経済」

堺屋太一

参加者83名

○第20回定例研究会の開催

日時 昭和53年2月17日（金） 午後

会場 東京工業試験所大会議室

課題 「金属水素化物の研究の現況と将来」

須田精二郎（工学院大学）

「水素の接触燃焼について」

佐野 寛（大阪工業技術試験所）

出席者46名

○特別研究会（団体会員向）の開催

本会団体会員のみを対象に，企業内部などで特に関心の高いテーマを選んで講演と討論を行う特別研究会を開催した。

日時 昭和53年3月30日（木） 午後

会場 東京工業試験所大会議室

課題 「エネルギー媒体としての水素の地位」

斯波忠夫（東京工業大学）

「ホルシェ計画今後の展開について」

太田時男（横浜国立大学）

出席者30名

（永谷 巖）